Ｄｒｅａｍ　Ｗｏｒｋ

-夢と語る-

担当者	グラバア　俊子（南山大学人文学部教授）　　楠本　和彦（南山大学人文学部助教授） 川浦　佐知子（南山大学人文学部専任講師）
概要	フロイトやユングといった心理学者が、心の深層を知る手がかりとした夢。 夢は忙しい日常生活では意識化されていない、けれども私たちにとって大切な情報を伝えてくれています。 このワークショップでは夢からのメッセージを捉え、自分なりに理解するということに取り組んでいきます。 ワークショップは次のような構成で行われます。 1.夢についての概論：１０月3日（水）１８：３０～２１：００ 臨床心理学からのドリームワーク概論（夢に関する各理論の紹介と夢の意味の捉え方）や夢日記のつけ方などを中心に進めます。 2.“シントニー”・夢と日常をつなぐ：１０月１７日（水）１８：３０～２１：００ シントニーという新しいコンセプトを用いて、偶然と片付けてしまっている事柄の中から、意味を紡ぎだしてみましょう。 3.“ドリームシアター”・夢を生きる：１０月３１日（水）１８：３０～２１：００ ゲシュタルトワークの手法を使い、夢の中に登場する人やモノになってみることで夢からのメッセージをを受けとめてみる、 ということをします。 4.集中ワークショップ：１１月１０日（土）・１１日（日）１０：００～１７：００ 夢についての様々なアプローチや理論、夢日記のシェア、イメージワークやアートワーク、ドリームシアターなどを通して、 互いに知り合いながら、具体的な夢を取り上げてワークをしていきます。 これらの４つのパートを通して、夢を自己理解、自己成長に役立て、ひいては自分の方向性を知る手がかりにしていくことを目指します。
日程	水曜日　３回　１８：３０～２１：００　　2001年　10/3、10/17、10/31 土日集中　１回　１０：００～１７：００　　2001年　11/10、11/11
定員	20名
会場	南山大学　Ｄ棟
研修費	31,500円（税込ならびに申込金2,000円を含む）